

令和 5 年度 工賃向上計画書（下半期）

事業所（施設）名	ぱれっとワークスれんげ			事業種別	就労継続支援B			
平均工賃の推移	前々年度（令和 3 年度）実績				前年度（令和 4 年度）実績			
	期	上半期	下半期	通期	期	上半期	下半期	通期
	月額	12,179	15,581	13,867	月額	15,328	14,056	14,650
	時間額	594	633	615	時間額	688	629	656
今年度平均工賃の 上半期実績と 下半期目標	今年度上半期実績と下半期目標				令和 5 年度以降の目標			
	期	上半期実績	下半期	通期	期	R 6 年	R 7 年	R 8 年
	月額	13,873	14,000	13,935	月額	14,000	14,100	14,200
	時間額	568	636	600	時間額	650	660	670
目標と比較した 上半期の工賃 支給状況	項目		対目標値	目標値からの差異発生の要因				
	支払総額		101 %	概ね予定通り毎月支払うことができていた				
	延べ工賃支払対象者数		107 %	新規通所者数等の増加				
	延べ勤務時間数		121 %	作業量と参加人数が増えたことによる増加				
	平均 工賃	月額	94 %	作業量は増えたが、単価が低かった				
		時間額	83 %	単価が低い作業時間のかかる作業も多かった				
上半期平均工賃 目標未達成の 要因分析 (目標未達成の場合)	工賃支払い対象者の増加に対して、受注作業量や効率化がそれに追いつかなかった。							
優先的にクリ アーしなければ ならない課題の 具体的な内容と 対応策	内職の受注数が選べるときは多めに受注し、作業の効率化を目指す。 共同受注センターなど、単発の内職も積極的に受注していく。							
上半期に工賃向 上に効果を上 げた具体的な事 項								
下半期におけ る、目標達成 に向けた対応策	内職の受注数と回転率を上げるために、早めに取引会社に連絡し、間が空かないように努力する。							